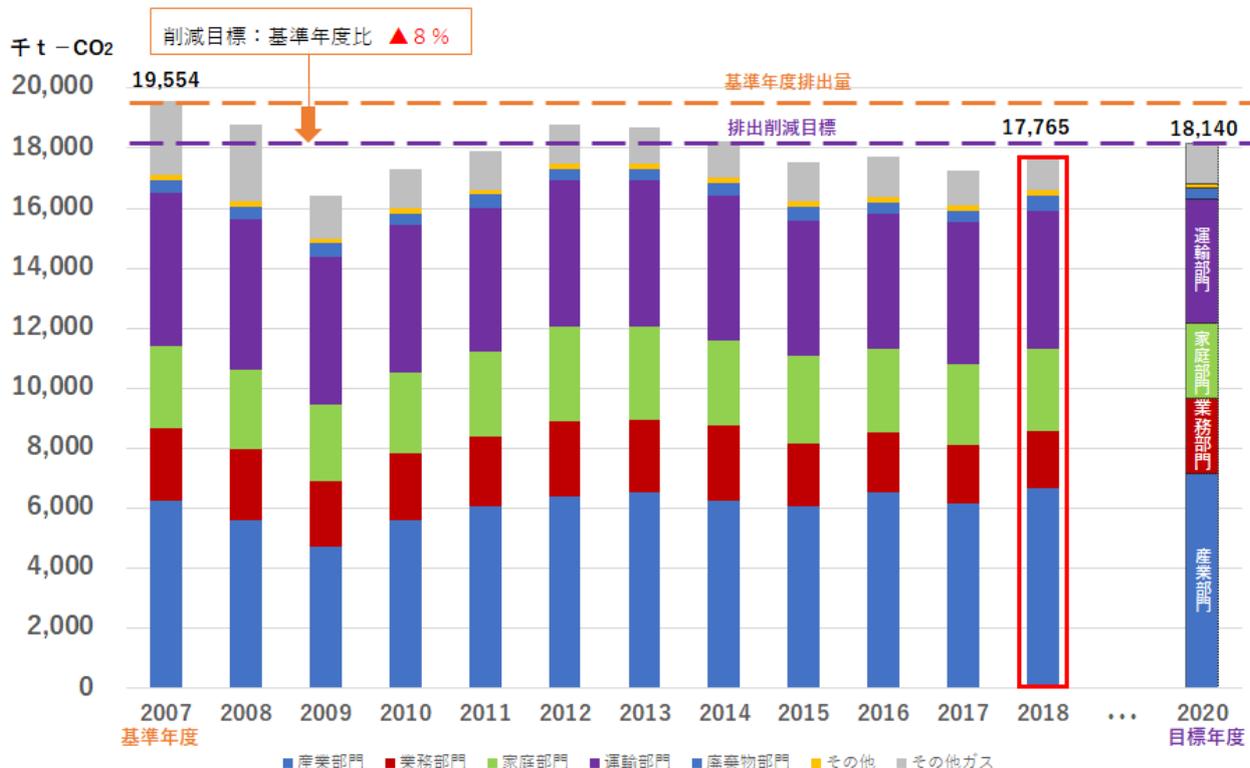


2018年度の県内温室効果ガス排出量及び 2019年度の県有施設における温室効果ガス排出量について

I. 県内温室効果ガス排出量

図1 県内温室効果ガス排出量の推移(部門別)



注1 2007年度までの排出量については「群馬県温室効果ガス実態調査」(2009年度実施)による。
2008年度以降は、鉱工業生産指数、県内エネルギー販売量等の統計指標等を用いた簡易手法により排出量を算出した。
2 「群馬県地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」(改定)の目標

1. 2018年度の県内温室効果ガス排出量

2018年度の県内温室効果ガス排出量は、17,765千t-CO₂で、基準年度(2007年度)に比べ9.1%減少しました。

2. 県内温室効果ガス排出量の推移

- (1) 2009年度は、リーマンショックの影響で排出量が大きく減少しました。
- (2) 2012年度以降は、概ね横ばいで推移しています。
- (3) 2015年度以降は、排出目標(18,140千t-CO₂)をクリアしています。
- (4) 2018年度は、産業部門の排出量が増加しました。これは、製造業のうち、電気機械工業、化学工業の生産指数・出荷指数が増加したことが影響したと考えられます。

(出典)平成30年群馬県鉱工業指数(平成27年基準)

表1 県内温室効果ガス排出量の状況

	2007年度 (基準年度)	2017年度 (前年度)	2018年度		
	排出量 (千t-CO2)	排出量 (千t-CO2)	排出量 (千t-CO2)	前年度比 (%)	基準年度比 (%)
二酸化炭素(CO2)計	17,107	16,089	16,583	3.1	▲ 3.1
エネルギー起源計	16,671	15,705	16,102	2.5	▲ 3.4
産業部門	6,267	6,188	6,680	7.9	6.6
業務部門	2,392	1,921	1,884	▲ 2.0	▲ 21.2
家庭部門	2,762	2,711	2,731	0.7	▲ 1.1
運輸部門	5,079	4,713	4,637	▲ 1.6	▲ 8.7
その他※1	171	171	171	—	—
廃棄物部門	436	384	481	25.3	10.4
メタン(CH4)※1	363	363	363	—	—
一酸化二窒素(N2O)※1	677	677	677	—	—
ハイドロフルオロカーボン(HFC)	94	79	70	▲ 10.9	▲ 25.5
パーフルオロカーボン(PFC)	268	26	38	43.8	▲ 85.8
六ふっ化硫黄(SF6)	1,045	22	23	3.3	▲ 97.8
三ふっ化窒素(NF3)		17	11	▲ 36.2	
温室効果ガス総計※2 ※3	19,554	17,274	17,765	2.8	▲ 9.1

※1 エネルギー起源CO2の「その他」、「CH4」、「N2O」については、2007年度数値に固定。

2 項目ごとに四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

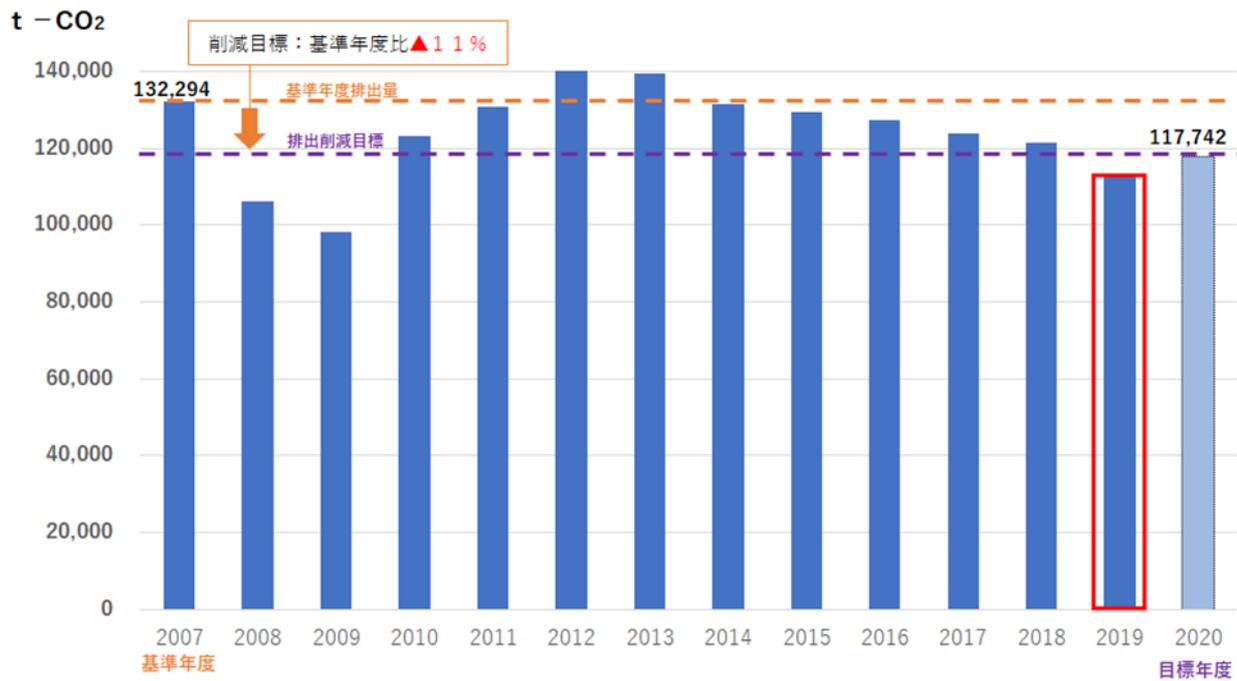
3 温室効果ガス排出量の算定に当たっては、令和2年12月に「都道府県別エネルギー消費統計」の数値が1990年度に遡って改訂されたことに基づき、2007年度及び2017年度の数値を修正しています。

表2 部門別の主な指標の推移(2014年度～2018年度)

部門	指標	単位	基準年度 (2007)	2014	2015	2016	2017	2018	前年度比 (%)	2007 年度比(%)	目標値 (2020)
産業	製造業の付加価値額当たり エネルギー消費量	GJ/百万円	19.2	16.9	13.8	15.8	14.6	15.3	5	▲ 20	14.4
	環境G S 認定等事業者数	事業者	908	2,638	2,869	3,081	3,133	3,123	▲ 0.3	244	5,000
業務	床面積当たりのエネルギー消費量	GJ/m2	1.57	1.31	1.17	1.14	1.09	1.08	▲ 1	▲ 31	1.20
	【再掲】環境G S 認定等事業者数	事業者	908	2,638	2,869	3,081	3,133	3,123	▲ 0.3	244	5,000
家庭	家庭1世帯当たりのエネルギー消費量	GJ/年	46	40	42	41	40	40	▲ 1	▲ 14	40
	住宅用太陽光発電設備普及率	%	1.4	8.2	8.5	9.2	9.7	11.0	13	686	15
運輸	次世代自動車の普及率	%	0.7	10.0	11.9	14.0	16.1	18.2	13	2,495	20
	自動車1台当たりのガソリン消費量	リットル	832	572	565	561	565	555	▲ 2	▲ 33	541
廃棄物	県民1人当たりのごみ排出量	g/日	1,153	1,051	1,031	1,005	986	986	0	▲ 14	890
	リサイクル率	%	16.1	15.6	15.4	15.7	15.1	15.2	0.7	▲ 6	25
再生可能 エネルギー	新エネルギー自給率	%	0.4	6.5	9.3	10.5	12.2	13.8	13	3,350	15
	【再掲】住宅用太陽光発電設備普及率	%	1.4	8.2	8.5	9.2	9.7	11.0	13	686	15

II. 県有施設における温室効果ガス排出量

図2 県有施設の温室効果ガス排出量の推移



注1 「群馬県地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」（改定）の目標

2 2020年度の県有施設における温室効果ガス排出量の削減目標は、2007年度比11%削減。

1. 2019年度の県有施設における温室効果ガス総排出量

2019年度の県有施設における温室効果ガス総排出量は、113,139t-CO₂で、基準年度(2007年度)に比べ14.5%減少しました。

2. 2019年度に減少した要因

- (1) 2019年度は長梅雨の影響で7月の平均気温が前年度比で4.5℃低かったことや、暖冬傾向により、燃料使用量が減少しました。
- (2) 新型コロナウイルス感染症拡大による一部施設の閉館や県立学校の休校により、消費エネルギー量が減少しました。
- (3) 県有施設における主な使用エネルギーの電気について、電力排出係数が改善(0.468kg-CO₂/kWh→0.457kg-CO₂/kWh)したことにより、温室効果ガス排出量が減少しました。

表3 県有施設における温室効果ガス排出量の状況

2007年度 総排出量 (基準年度) (A)	2018年度 総排出量 (前年度) (B)	2019年度 総排出量 (C)	前年度比		基準年度比	
			増減 (C-B)	増減率	増減 (C-A)	増減率
			t-CO ₂	%	t-CO ₂	%
132,294	121,411	113,139	▲8,272	▲6.8	▲19,115	▲14.5

エネルギー項目	2007年度	2018年度	2019年度	前年度比		基準年度比	
				増減	増減率	増減	増減率
公用車ガソリン	3,175kℓ	2,501kℓ	2,437kℓ	▲2.6%	▲23.2%		
灯油	2,153kℓ	1,741kℓ	1,614kℓ	▲7.3%	▲25.0%		

Ⅲ. 今後の方針

1. 県内温室効果ガス排出量

2021年3月に策定した「群馬県地球温暖化対策実行計画 2021-2030」において、2030年度の県内における温室効果ガス排出量の削減目標を、基準年度(2013年度)比で50%削減(排出削減分44%+森林吸収分6%)としました。

2050年に向けた「ぐんま5つのゼロ宣言」の実現に向け、同計画を強力に推進し、更なる温室効果ガス排出量の削減を目指します。

2. 県有施設における温室効果ガス排出量

「群馬県地球温暖化対策実行計画 2021-2030」において、2030年度の県有施設における温室効果ガス排出量の削減目標を、基準年度(2013年度)比で44%削減としました。

この目標を達成するため、全職員による省エネルギー行動のさらなる徹底等により、エネルギー使用量の削減に取り組むほか、高効率機器の導入による省エネルギー改修や再生可能エネルギー100%電気の導入推進などにより、温室効果ガス排出量を削減します。

2050年に向けた「ぐんま5つのゼロ宣言」

宣言1	自然災害による死者「ゼロ」
宣言2	温室効果ガス排出量「ゼロ」
宣言3	災害時の停電「ゼロ」
宣言4	プラスチックごみ「ゼロ」
宣言5	食品ロス「ゼロ」

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

